

健康 ♪ 外来ニュース

男性ホルモン

No. 75 令和7年7月15日

テストステロン補充療法 の注意点

テストステロン補充が禁忌とされる状態には、前立腺がん、男性乳がん(がん細胞増殖を促進するので、投与開始前にはこれらのがんがないことを確認する)、多血症(赤血球産生を増加させ、血栓症リスクが高まる)、睡眠時無呼吸症候群(呼吸中枢への作用やホルモンバランスの崩れから悪化する)、その他重度の肝・腎・心の障害があります。

補充したテストステロンはアロマターゼ酵素によって女性ホルモン(エストロゲン)に変わるので、女性化乳房を生じることがあります。

また、テストステロンを多量投与すると、下垂体へのネガティブフィードバックによつてFSH分泌が抑制されるので、無精子症を起こす危険性があります。

男性ホルモン代謝と病気

精巣で95%以上が作られる男性ホルモン(テストステロン)は、40代以降から緩徐に減少して、加齢男性性腺機能低下症(LOH症候群、更年期障害)を生じる可能性があります。女性ホルモン代謝にも関係する、脳の下垂体からの黄体形成ホルモン(LH)が精巣ライディッヒ細胞に働いてテストステロンを産生させ、卵胞刺激ホルモン(FSH)がセルトリ細胞の精子形成を促進します。性腺機能低下症は、血中総テストステロン値が250ng/dL未満であることと、質問票のAMSスコアから診断します(ガイドライン2022)。治療には、テストステロン注を月に1、2回筋肉注射します。

低テストステロン状態では、抑うつ気分、疲労感、不眠などの症状が「うつ」と紛らわしいので鑑別が難しく、うつ病患者の半数が低テストステロンであったとの報告があります。低テストステロンはインスリン抵抗性を生じるので、糖尿病、高血圧、脂質異常などの生活習慣病や心血管イベントのリスクになりますが、テストステロン補充が有効との成績があります。テストステロンは、海馬(記憶中枢)でも作られ、アミロイドβ産生抑制作用があるので、低テストステロンとアルツハイマー型認知症との関連が示唆されています。

テストステロンは、コレステロールから生成されるので、高コレステロール血症治療薬のスタチンが低テストステロンを引き起こす恐れがあります。親水性の薬(メバロチン、クレストール)が主に肝臓に作用するのに対して、脂溶性の薬(リポバス、リピトール、リバロ)は精巣でもコレステロール代謝を抑制しますが、実際には低テストステロン血症を生じるのは稀とのこと。

男性型脱毛症AGA

テストステロンが直接的にAGAを起こすのではなく、II型5α還元酵素の働きで生成されるDHT(ジヒドロテストステロン)が毛母細胞の働きを抑えて薄毛を生じます。低テストステロン状態であっても、この酵素活性が強いとAGAを起こします。治療薬のフィナステリド(5α還元酵素阻害薬)の投与中は、自殺企図、前立腺がんの発現、血清PSA値が半減することに注意します。



医療法人 祥佑会

藤田胃腸科病院

〒569-0086 高槻市松原町17-36

TEL 072-671-5916

FAX 072-671-5919

健康 ♪ 外来

水曜日 14:00~17:00(要予約)

担当：中嶋